

地理 (Geography)

担当教員名	石田 祐	
学科, 科目詳細	都市システム工学科 1年 通年 一般科目 必修科目 2単位 講義	
学習・教育目標	(C)(H)	
科目の概要	地形、気候、文化にもとづいて営まれている産業や生活を理解することをはじめ、近年さまざまな検討がなされている防災・減災体制の構築など現代世界において生じている課題と対応方策について考えます。	
テキスト(参考文献)	・「新編 詳解地理B」二宮書店 ・「高等地図帳」二宮書店 ・「新編 詳解地理B ワークブック」二宮書店	
履修上の注意	地理で取り扱われる内容は、経済や政治をはじめ社会問題から人々の暮らしまで、すべてのことに密接に結びついているということを理解するためにも、日頃から社会のさまざまなことに関心をもつことを期待しています。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	・筆記試験(70%) ・課題(30%) ・60点以上を合格とする	
連絡先	y-ishida@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	グローバル社会において教養を身につけること、社会科の学習方法について考える
第2週	資料収集と引用、情報の整理・分析・評価、意見の主張と発表の各方法について考える
第3週	グループワークの方法について考える
第4週	位置と経済状態の把握：東アジア・東南アジアの国家と都市
第5週	統計資料と歴史をもとに考える：世界の都市・居住問題と防災・減災体制
第6週	統計資料と歴史をもとに考える：世界の民族的多様性と共生社会
第7週	グループワーク：統計資料を探索・収集する
第8週	中間試験（第1週から第7週の学習内容の確認）
第9週	グループワーク：探索・収集した統計資料を整理する
第10週	基礎知識：世界地図、地図投影法、主題図、地図の作成、地図記号
第11週	グループワーク：整理した統計資料の正確なグラフ化と他者への解説
第12週	グループワーク：プレゼンテーションと評価の方法を考える。
第13週	位置と経済状態の把握：南アジア・西アジアの国家と都市
第14週	統計資料と歴史をもとに考える：世界の環境・エネルギー問題
第15週	グループワーク：グラフについてのプレゼンテーションと評価の実践
期末試験	
第16週	位置と経済状態の把握：ヨーロッパの国家と都市
第17週	基礎知識：国家、主権、領域、国境、交通、時差
第18週	統計資料と歴史をもとに考える：生産と流通の発達と今後の発展
第19週	統計資料と歴史をもとに考える：国土の開発と産業の集積、シリコンバレー
第20週	位置と経済状態の把握：アフリカの国家と都市
第21週	グループワーク：レポートの作成方法について考える
第22週	グループワーク：地誌的・系統地理的調査の準備
第23週	中間試験（第16週から第22週の学習内容の確認）
第24週	位置と経済状態の把握：南アメリカの国家と都市
第25週	基礎知識：地形・気候・自然
第26週	グループワーク：地誌的・系統地理的調査の資料の整理
第27週	統計資料と歴史をもとに考える：農業の発達と今後の発展
第28週	統計資料と歴史をもとに考える：工業の発達と今後の発展
第29週	位置と経済状態の把握：北アメリカの国家と都市
第30週	グループワーク：地誌的・系統地理的調査のプレゼンテーション
期末試験	